

2024 年度 第 5 回 (公社) 新潟県理事会 開催議事録

1. 日時 2025 年 3 月 8 日 (土) 13:00～16:30

2. 場所 Web 会議 (Zoom)

3. 理事現在数および定足数ならびに出席理事数およびその氏名

理事現在数 25 名 定足数 13 名

出席理事数 24 名 欠席理事数 1 名

出席理事の氏名 斎藤トシ子、村山稔子、高橋洋平、山田祥子、北林紘、伊藤涼子、
治田麻理子、石墨清美江、竹内瑞希、久志田順子、佐々木佳子、
内田悠香、中俣裕子、山岸美恵子、金子幸子、鶴川一寛、村山千晶、
内山智子、土田直美、丸山朝美、小林昌子、渡辺絵里子、斉藤幸子、
山川琴栄、

欠席理事の氏名 堀川千嘉

4. 顧問現在数および出席顧問氏名

顧問現在数 2 名

出席顧問数 2 名 入山八江、折居千恵子

5. 監事現在数および出席監事氏名

監事現在数 2 名

出席監事数 2 名 角谷ヒロ子、大平真由美

6. その他出席者

事務局長 阿部幸子

三条副支部長 澤口 聡子

7. 議長の氏名 斎藤トシ子

8. 理事会の議事の経過の要領およびその結果

Web 会議システムにより、出席者の音声と映像及び挙手などの意見表示が互いに行うことができる
こととなっていることの確認があった。

(1) 定足数の確認

冒頭で山田専務理事が参加者数及び定足数の充足を確認し、本会議の成立を宣した。
議事・進行を会長へ渡し、議事に入った。

(2) 会長挨拶

斎藤会長より、本年度、精力的に活動していることに関して理事方々、事務局員への感

謝ならびに多団体の支援・協力に関する感謝の意が述べられ、資料 P3 に基づき今後の展望について協力依頼と挨拶がなされた。本日理事会の目的は 2025 年度の事業計画及び収支予算案の審議と 2025 年度に向けた報告であること、忌憚のない意見交換をしていただきたいことが伝えられた。

(3) 議案の審議状況および議決結果等

第 1 号議案 2025 年度新潟県栄養士会事業計画及び収支予算_新規事業（案）について

▶三条支部_三師会市民公開講座事業について（p5）

- ・ 資料に基づき、阿部事務局長より三師会が医師会・歯科医師会・薬剤師会である事、ならびに 2024 年度から協力依頼があり今後も継続のため新規事業計画とした旨が説明された。
- ・ 質問・意見が挙がらなかった。

これを諮ったところ、賛成多数（挙手理事 20 名）により原案通り承認された。

▶会員への学術的支援について（P6）

- ・ 資料に基づき、北林理事（学術部長/村上支部長）より、下記の説明がなされた。
 - * 会員の学術的スキル・好奇心の向上を目的とする
 - * 会員向けに募集
 - * これからアンケートを取る
 - * 会員が希望するような内容とする
 - * 年 2～3 回予定
 - * 対面予定
- ・ 質問・意見は挙がらなかった。

これを諮ったところ、賛成多数（挙手理事 16 名）により原案通り承認された。

▶会員増対策委員会（p7）

- ・ 資料に基づき、阿部事務局長より、2024 年度当初の計画になかった委員会活動が開始されたため、2025 年度新規事業コードを作成する旨が説明された。
- ・ 北林理事（学術部長/村上支部長）より下記の説明がなされた
 - * 2024 年度は養成校学生に向けたチラシ作成が行われた。
 - * 2025 年度は通年使用でき、学生・非会員への勧誘が図れるチラシを作成。
 - * 80 周年記念事業および各職域等に配布し、非会員にアプローチする。
 - * 職域部長を委員とした Zoon 会議の開催、印刷費用などの予算説明。
 - * 摘要欄の一部修正がある旨。
- ・ 質問・意見は挙がらなかった。

これを諮ったところ、賛成多数（挙手理事 17 名）により原案通り承認された。

▶各種表彰・顕彰委員会（p8）

- ・ 資料に基づき、阿部事務局長より、会員増対策委員会同様 2024 年度当初の計画になかった委員会活動が開始されたため、2025 年度新規事業コードを作成する旨が説明され

た。

- ・ 北林理事（学術部長/村上支部長）より活動方針の見直しが発生した旨が伝えられた。
- ・ 本委員会で、県知事表彰や厚生労働大臣賞（県知事表彰受賞必須）、国の各種褒章等、多くの機関から依頼される表彰・顕彰の該当者を取りこぼすことなく推薦するための仕組みづくりや推薦規程の作成など、次回理事会まで示す旨が伝えられた。
- ・ 質問・意見は挙がらなかった。

これを諮ったところ、賛成多数（挙手理事 17 名）により原案通り承認された。

第 2 号議案 2025 年度新潟県栄養士会事業計画及び収支予算_特定費用準備資金（変更・新規・その他）（案）について（p13~15）

- ・ 資料に基づき、阿部事務局長より、遊休財産ならびに特定費用準備資金についての説明がなされた。
- ・ 2023 年度の理事会にて承認済みであり、80 周年記念事業、CS セミナー、ホームページリニューアル、災害支援事業積み立て金があたる旨の補足説明がなされた。

▶ホームページリニューアルについて（変更）（P 10）

- ・ 資料に基づき、阿部事務局長より、期間及び金額の変更の説明がなされた。
- ・ 質問・意見は挙がらなかった。

これを諮ったところ、賛成多数（挙手理事 19 名）により原案通り承認された。

▶引っ越し積立金について（新規）（p11）

- ・ 資料に基づき、阿部事務局長より、事務局環境の現状と今後の計画について説明がなされた。
- ・ 質問・意見は挙がらなかった。

これを諮ったところ、賛成多数（挙手理事 20 名）により原案通り承認された。

▶2025 年度災害支援事業積み立て金について（p12）

- ・ 資料に基づき、阿部事務局長より説明があり、既に 2023 年度承認いただいている内容であり、2024 年度の積み立て金額の提示がなされた。
- ・ 中俣理事（長岡支部長）より、会員数減少傾向の中、捻出の質問（懸念）が挙がり、阿部事務局長より遊休財産ならびに特定費用準備資金について再度説明があり、遊休財産の状況を確認しながら進め、プールがなければ見直しする旨の回答がなされた。
また、会費の値上げについての質問が挙がり、斎藤会長より理事会審議事項に値する内容であるが、今のところ提案されていない旨の回答がなされた。

これを諮ったところ、賛成多数（挙手理事 19 名）により原案通り承認された。

・ 山川理事（広報・情報部長/地域活動事業部長）より、公益目的事業費の割合について質問が挙がり、阿部事務局長より 80%である回答と例年このパーセンテージである補足がなされた。また、次回理事会で詳しく説明する旨が示された。

第 3 号議案 2025 年度新潟県栄養士会事業計画及び収支予算_有期契約職員（嘱託職員、パートタイム職員）給与規程一部改正（案）について（p16）

- ・ 資料に基づき、阿部事務局長より世相を鑑み事務局員の給与変更の説明がなされた。
- ・ 質問・意見は挙がらなかった。

これを諮ったところ、賛成多数（挙手理事 20 名）により原案通り承認された。

第 4 号議案 2025 年度新潟県栄養士会事業計画及び収支予算_栄養士大会・事務局経費・関東甲信越地区栄養士会長会議費用検討について

- ・ 阿部事務局長より、予算作成にあたり、上記三事業について三役会議で検討された旨が下記の通り報告された。

▶2025 年度栄養士大会について（p17）

- ・ 資料に基づき、阿部事務局長より下記の説明がなされた。
 - *本年度の経費報告ならびに、会員減少傾向のなか 2024 年度のような 1 日型の栄養士大会の開催を予算で賄うことが困難であるため、2025 年度は『栄養士大会』という名称は残すも、従来通りの県の補助金で賄える半日型に変更。
- ・ 斎藤会長より、会員交流、県との情報共有の強化の必要性ポスター展示等について、補足された
- ・ 他質問・意見は挙がらなかった。

これを諮ったところ、賛成多数（挙手理事 20 名）により原案通り承認された。

▶事務局経費について（p18）

- ・ 資料に基づき、阿部事務局長より、収支予算作成にあたり事務局の検討内容について説明・報告がなされた。
- ・ 質問・意見は挙がらなかった。

▶関東甲信越地区栄養士会長会議費用について（p19）

- ・ 資料に基づき、阿部事務局長より、収支予算作成にあたり本年度実施される標記会議について説明・報告がなされた。
- ・ 質問・意見は挙がらなかった。

第 5 号議案 2025 年度新潟県栄養士会事業計画及び収支予算（案）について（p20～31）

- ・ 資料 P20 に基づき、阿部事務局長より収入見込みについて説明がなされ 2025 年度の収支予算案として、経常収益 37,468,830 円（収入）、経常費用（支出）37,460,999 円、正味財産期末残高 7,831 円となったことが報告された。
- ・ 当初 60 万円の赤字予算になるも、支部ならびに事業部及び三役会議の検討により黒字予算案に収まったことに、感謝の意が述べられた。
- ・ 質問・意見は挙がらなかった

これを諮ったところ、賛成多数（挙手理事 20 名）により原案通り承認された。

✓以上、2025 年度事業計画及び収支予算計画が承認されたため、

阿部事務局長より、提出いただいていた事業計画・予算書を支部長・職域部長へ返却するので、2025 年 4 月より予算内で事業を進めていただきたい旨が示された。

(4) 報告

①2025 年度生涯教育研修内容について（p 32～34）

- ・ 資料に基づき、斉藤理事（研修部長/福祉事業部長）より配信日、配信期間などの説明がなされた。
- ・ 会員より、配信期間の延長の要望が挙がっていたこともあったが、事務局の業務が煩雑になってしまうことを避けるため、例年同様に一週間の配信期間に変更がないことの説明がなされた。
- ・ 2025 年度研修項目欄について「全分野共有」が多かったため、2026 年度は精査して内容を決める旨が示された。

②2024 年度栄養士大会アンケート結果について（資料 2_2024 年度栄養士大会アンケート）

- ・ アンケート集計に関して、感謝の意が伝えられた。
- ・ 資料 2 に基づき、斉藤理事（研修部長/福祉事業部長）より、参加者からは概ね良好な感想が挙げられていたことの説明がなされた。
- ・ 斎藤会長より、運営に関わってくださった方へ感謝の意が伝えられた。また、栄養士会のイベントに学生を巻き込む重要性が伝えられた。

③2025 年度栄養 CS 拡大事業_人材育成研修について（p37）

- ・ 資料に基づき、久志田理事（栄養ケア・ステーション部長/新潟支部員）より 2025 年度プログラム、2024 年度版のアーカイブ配信の説明、及び下記の説明がなされた。
 - * CS セミナーの参加は CS 登録者が条件である。
 - * 登録者の登録内容変更があるため 1 年単位としている。
 - * 2024 年登録者へは 3/6 に登録更新のメール配信済み。
 - * CS 登録は三月中旬から郵送ならびにホームページを通して登録案内開始。
- ・ 役員も登録するよう依頼がなされた。
- ・ 斎藤会長より、2024 年度の登録者数の質問が挙がり、久志田理事（栄養ケア・ステーション部長/新潟支部員）より 120 名程度と回答がなされた。
- ・ 斎藤会長より、活動に関しては強引に依頼するのではなく、できる範囲で声掛けし、活動できる方に手挙げしていただいているので、「活動する」にチェックを入れて欲しい旨が補足された。また、2025 年度の CKD 重症化予防プログラムについては新情報を踏まえた内容になっており、広く皆さんに知っていただきたいため、理事・支部長・職域部長からの周囲への周知拡大・登録・受講参加勧奨の協力依頼がなされた。
- ・ 北林理事（学術部長/村上支部長）より活動不可にチェックの場合、仕事内容・紹介が届かないのかと質問が挙げられ、久志田理事（栄養ケア・ステーション部長/新潟支部員）より確認する旨の回答がなされた。また、北林理事（学術部長/村上支部長）より仕事の内容が公開されれば、やりたいと思う人・興味を持つ方はいるのではないかとの

提案について、久志田理事（栄養ケア・ステーション部長/新潟支部員）より検討する旨が示された。

- ・ 久志田理事（栄養ケア・ステーション部長/新潟支部員）より、ホームページ登録については、登録しやすいように変更予定と補足がなされた。
- ・ 斎藤会長より、周知について多方面からを図ると良い旨の助言がなされた。

④栄養ケア・ステーション料金表変更について（p38）

- ・ 資料に基づき、久志田理事（栄養ケア・ステーション部長/新潟支部員）より項目 1 ～ 5 について説明がなされた。
- ・ 久志田理事（栄養ケア・ステーション部長/新潟支部員）より下記の補足がなされた。
 - * 地域の課題を洗い出し、解決するための研修会が開催され、開催に関して支部長ならびに検討委員への感謝の意が伝えられた。
 - * 2025 年度も引き続き支部単位の活動事業を開催する。
 - * 栄養士会非会員参加に関して、保健所栄養士との連携の重要性を実感した旨が伝えられた。また、来年度についても保健所栄養士との協力依頼がなされた。
- ・ 4/19（土）13:00 より女性財団交流室（新潟ユニゾンプラザ 2 階）において令和 7 年度在宅医療(栄養)推進事業 第 1 回支部代表者会議 開催する旨が通知され、各支部 支部長と在宅事業支部検討委員（1 名）の参加依頼がなされた。
- ・ 項目 3 アンケート実施では医療施設の回答率が 30%であり、医療施設回答が昨年度に比べ低かった点について、治田理事（新潟支部長）・小林理事（医療事業部長）より 30%であることは知らなかった旨が回答された。
また小林理事（医療事業部長）より追加の催促・参加勧奨を促すことや、意識の低さも考えられるため検討会開催する旨が示された。
- ・ 村山理事（十日町支部長）より p 41 の検討委員・構成人数の相違がある旨の指摘があり、久志田理事（栄養ケア・ステーション部長/新潟支部員）より訂正する旨が示された。

⑤2024 年度新潟県基金事業_在宅医療（栄養）推進事業実施報告について（p39～41）

- ・ 資料に基づき、久志田理事（栄養ケア・ステーション部長/新潟支部員）より項目 1 ～ 5 について説明がなされた。
- ・ 久志田理事（栄養ケア・ステーション部長/新潟支部員）より下記の補足がなされた。
 - * 地域の課題を洗い出し、解決するための研修会が開催され、開催に関して支部長ならびに検討委員への感謝の意が伝えられた。
 - * 2025 年度も引き続き開催する。
 - * 栄養士会非会員参加に関して、保健所との連携の重要性を実感した旨が伝えられた。
また、来年度についても保健所の協力依頼がなされた。
- ・ 4/19（土）13:00 より女性財団交流室（新潟ユニゾンプラザ 2 階）において令和 7 年度在宅医療(栄養)推進事業 第 1 回支部代表者会議 開催する旨が通知され、各支部 支部長と在宅事業支部検討委員（1 名）の参加依頼がなされた。
- ・ 項目 3 アンケート回収率 30%であり、医療が低かった点について、治田理事（新潟支

部長）・小林理事（医療事業部長）より 30%であることは知らなかった旨が回答された。

また小林理事（医療事業部長）より追加の催促・参加勧奨を促すことや、意識の低さも考えられるため検討が必要である旨が示された。

- ・ 村山理事（十日町支部長）より p 41 の検討委員・構成人数の相違がある旨の指摘があり、久志田理事（栄養ケア・ステーション部長/新潟支部員）より訂正する旨が示された。

⑥災害支援マニュアルについて（p 42～62）

- ・ 資料について、渡辺理事（事業部長/勤労者支援事業部長）より、前回の理事会報告に肉付けし、ブラッシュアップした内容である旨の説明がなされた。また、下記について補足された。
 - * 策定日は確定時に加筆する。
 - * 2025 年度はアクションカードを利用して模擬訓練を実施予定。
 - * 訓練計画は、本理事会以降に事業部会員で日時・詳細を決める予定。
- ・ 斎藤会長より、詳細な作成に関して感謝の意が伝えられた。また、実際に動いてみて気づきを随時変更し、ホームページアップの方向で進めるよう示された。

⑦県栄事務局への災害支援準備デスクの設置について（資料無し）

- ・ 阿部事務局長より口頭で下記の提案がなされた。
 - * 県栄では下記について事務局が計画・発信を行ってきたが、
 - ✓ JDA-DAT スタッフ研修（役員改選年）の計画
 - ✓ スタッフ教育研修（役員改選翌年）の計画
 - ✓ JDA-DAT リーダー研修受講者の選定（スタッフの中から 1～2 名）
 - ✓ 県主催防災訓練（毎年）
- 事務局で毎年継続することが困難な状況である。
- そこで、防災士資格を持ち、JDA-DAT リーダーの土田理事（公衆衛生事業部長）に県栄の災害支援のシステム作りを依頼した旨が説明された。
- 日程・任期は決まっていないが検討しながら進める旨が示された。
- ・ 斎藤会長より過日受講した日栄の防災訓練より、日栄の目指すところまで新潟県栄養士会は至っていないのが現状である。発災した際、支部長の役割は重要であり、県との連携体制も確立しなければならないと危機感含め補足説明がなされた。

⑧未来に残すべき和食継承プロジェクトについて（p 63～65）

- ・ 資料に基づき、阿部事務局長より説明がなされた。
- ・ 阿部事務局長・斎藤会長より石墨理事（新潟支部員）へ感謝の意が伝えられた。
- ・ 「のっぺ」がフードモデルで展示される旨が補足された。
- ・ 石墨理事（新潟支部員）より、貴重な機会を頂戴したこと、世界中の皆さんに役立てたうれしいこと等、感謝の意が伝えられた。

⑨2025 年度定時総会及び 80 周年記念事業について (p66~67)

- ・ 資料に基づき、斎藤会長より説明がなされた。
- ・ 理事は県栄の執行を担っていることから、総会および 80 周年記念事業は、理事全員参加でお願いしたい旨が、会長より示された。
- ・ 斎藤会長より、下記について補足説明がなされ、
 - * 学生は授業の一環で 200 名前後参加
 - * 中村会長の記念講演時間の経緯の補足説明とテーマ変更について
 - * 特別講演の福田氏の紹介
 - * 展示ブースへの栄養情報提供追加更に、多くの方に栄養士会の活動を周知していただくために、理事周囲の非会員・会員・家族等への参加勧奨の協力依頼がなされた。

⑩2024 年度第 2 回諮問会議報告 (p69~72)

- ・ 資料に基づき、斎藤会長より説明がなされた。
- ・ 諮問会議は日栄主催であり、日栄理事及び 47 都道府県栄養士会会長が参加する会議であることが補足された。
- ・ 資料 p 69~70 研修管理システム「Manaable (マナブル)」について、日栄において会員管理システムと研修システムを分けることになった旨が補足説明された。
また、利便性はあるも資金がかかることもあり、県栄の導入については他県の様子やメリットを見ながら検討することが示された。
- ・ 保健機能食品に関しては、日本栄養士会雑誌 3 月号の連載に掲載されているので確認して欲しい旨が伝えられた。
- ・ 資料 p 71 同職種間連携で使用した講演動画 3 本提供について、無料であれば県栄で依頼する意向である旨が示された。
- ・ 厚生労働省委託事業の専門管理栄養士専門職分野別人材育成事業は、国が必要との考えのもと進められており、国と連携している旨が補足説明された。
- ・ 日本栄養士会雑誌 実践事例報告における投稿ガイドライン・投稿規定の一部改訂に伴い、投稿しやすくなったと思うので、実践活動報告を投稿して欲しい旨が伝えられた。

⑪2025 年度関東甲信越地区栄養士会長会議・連盟支部長合同会議について (p 72)

- ・ 資料に基づき、山田専務理事より説明がなされた。

⑫地域栄養ケア担当報告書変更について (p 73)

- ・ 資料について、山田専務理事より下記説明がなされた。
 - * 2024 年度は地域栄養ケア担当活動について予算計上されていなかったため、右の事業計画・報告様式の使用ができず、左の様式にて報告を行っていただいた経緯がと、2025 年度は予算計上したため、右の様式へ報告様式を変更する理由が補足された。
- ・ 地域栄養ケア担当の活動で一番重要なのが、会議参加して多職種とのネットワークを築く他に、そこで得た地域の課題を支部内他(多)職種に伝達し、支部内における地域包

括ケアの栄養支援体制を強化することにある旨が補足説明された。

- ・ 斎藤会長より新様式には記載例があると良い旨の助言があり、山田専務理事より、記載例を追記後、ホームページ上の様式を差し替える旨が示された。
- ・ 村山理事（十日町支部長）より、地域栄養ケア担当への様式変更と変更に伴う趣旨の説明は誰が行うのか質問が挙がり、山田専務理事より、支部長による説明協力依頼と、山田専務理事からの担当者への説明配信を行う旨が示された。

⑬2025 年度理事会、常任理事会、三役会の日程（p 74）

- ・ 資料に基づき、山田専務理事より説明がなされた。
- ・ スケジュール確保が依頼された。
- ・ 斎藤会長より、基本 Zoom で実施される旨の補足説明がなされた。

⑭その他

- ・ 斎藤会長より理事に向け、その他報告事項の有無が問われ、下記事項の報告・意見交換がなされた

- ✓ 村山理事（十日町支部長）より、魚沼支部において作成された栄養情報提供書について、ホームページでの紹介依頼と確認がなされた。

久志田理事（栄養ケア・ステーション部長/新潟支部員）より目的を問われ、村山理事（十日町支部長）より国が示した様式よりもチェックしやすく、医療・介護共通様式にした点にあり、より広く紹介していただきたい旨の説明がなされた。

また、山田専務理事より、誰でも使用可能か質問が挙げられ、鶴川理事（魚沼支部長）より魚沼圏域以外の方でも使用可能であり、特に魚沼支部圏域内拡大を目指している旨が示された。

掲載方法について久志田理事（栄養ケア・ステーション部長/新潟支部員）より、現在の様式の横に追加、ならびにお知らせ欄への掲載を検討する旨が示された。尚、「ご自由にご使用ください」の文章については後日相談する旨が示された。

更に斎藤会長より、過日、在宅医療（栄養）推進事業評価委員会において、現場での使用課題が挙げられており、「いいもの」の根拠を示す必要があり、掲載することで混乱を招く恐れがあるので一度見せていただき、検討・相談させていただきたい旨が提案され、鶴川理事（魚沼支部長）より承諾を得た。

山川理事（広報・情報部/地域活動事業部長）より、新潟支部より資料のホームページ掲載依頼をされた経緯があり、支部活動紹介への掲載による情報提供も方法の1つと提案がなされた。治田理事(新潟市支部長)より、新潟市がホームページ掲載依頼した資料について、「糖尿病を知る集い」で活用した資料であり栄養情報提供書とは取扱い異なる、新潟市資料をホームページ掲載することについては支部内で再検討中と補足説明があった。

- ✓ 土田理事（公衆衛生事業部長）より、大船渡市の火災について JDA-DAT の今後

の動き等の情報の有無について質問が挙がり、阿部事務局長より今のところはないとの回答がなされた。

- ✓ 山田専務理事より、4/19（土）基金事業説明の後、支部長オリエンテーションを実施する旨が通達された。それに伴い、支部長宛に3月中にアンケートを実施するので協力依頼がなされた。

・他報告は挙がらなかった。

以上、斎藤会長による議長・議事進行を終了した。

山田専務より、顧問・監事各位から一言お言葉を頂く旨が提案され、下記のお言葉を頂戴した。

大平監事）理事会に出ないとわからないことがたくさんあるので、内容について議事録だけでなく、自身で感じたところを振り返り、今後の事業運営に役立てていただきたい。

角谷監事）事務局へ時々伺い大変な様子を拝見しておりますので、手当の改定は是非進めていただきたい。また情報共有はとても大切なことなので、栄養士会の活動、進捗状況、課題を仲間に伝達していただけたら、もっと栄養士会が前に進める力になると思う。

折居顧問）予算が充実している。地域栄養ケア担当が進み嬉しく思う。

入山顧問）会員増について「口コミ」も大事。

栄養士会は自分のために何かをしてもらえるものではなく、公益を果たすための集団であることの周知が必要。

在宅医療推進事業における保健所の役割は、仕事でもあるため、働きかけ・協力・連携について気になった。

入山顧問のコメントについて、久志田理事（栄養ケア・ステーション部長/新潟支部員）・土田理事（公衆衛生事業部長）より下記の説明がなされた。

- ・久志田理事（栄養ケア・ステーション部長/新潟支部員）より保健所栄養士の県栄養士会事業についての協力依頼方法について、各支部長から管轄保健所への協力依頼によるものである旨が補足説明され、今後も協力依頼の継続をお願いしたい旨説明がなされた。また支部によっては事業の取り組みの検討体制整備が必要なため、検討委員含め相談する意向である旨が示された。
- ・土田理事（公衆衛生事業部長）より柏崎保健所管内では給食施設指導後の合同結果説明会を管理栄養士・施設長に加え行政の管理栄養士も参加していただき、栄養ケアの連携の重要性を認識するような研修を開催した旨が補足報告された。

⑮事務連絡

- ・山田専務理事より、本日議事録について下記の理由により10日24時までに確認・加除修正の協力依頼がなされた。

＊月末に阿部事務局長より県へ電子申請しなければならない

* 電子申請に間に合うように、監事、代表理事より議事録確認の記名・押印を頂かなければならないが、来局可否関係上、郵送日程確保が生じている

(5) 閉会の挨拶

- ・ 高橋副会長より、2025 年度は 80 周年記念事業、関東甲信越地区栄養士会長会議等、盛り沢山に感じた。皆様のご協力を頂きながらと思っております。また災害マニュアルの模擬訓練を 2025 年度新たに企画させていただく。災害時に生きるマニュアルの完成をめざしているので、皆様のお力添えが必要です。時期など相談させていただく旨の協力依頼が伝えられ、閉会の挨拶がなされた。

以上をもって、本日の理事会では、Web 会議等のシステムに異常事態は発生せず、議案の審議等を終了したので、16 時 30 分に閉会を宣し、解散した。

この議事録が正確であることを証するため、出席した理事および監事は記名押印する。

—以下余白—

2025 年 3 月 11 日

上記のとおり相違ないことを認めます。

出席代表理事 印

出席代表理事 印

出席代表理事 印

出席監事 印

出席監事 印

議事録作成者 専務理事 山田祥子